



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 太平洋興発株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8835 URL <https://www.taiheiyo.net/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板垣 好紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高橋 光幸 TEL 03-5830-1602  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	38,103	59.9	1,436	194.1	1,427	355.6	1,087	320.3
2022年3月期第3四半期	23,823	21.4	488	△20.9	313	△32.8	258	△48.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,348百万円 (403.6%) 2022年3月期第3四半期 267百万円 (△41.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	139.74	—
2022年3月期第3四半期	33.25	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	54,567	16,224	28.9	2,025.34
2022年3月期	44,646	15,140	32.9	1,887.11

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 15,755百万円 2022年3月期 14,680百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	33.00	33.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	43.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	64.4	1,000	58.3	1,000	155.9	600	63.5	77.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	7,783,448株	2022年3月期	7,783,448株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	4,168株	2022年3月期	4,167株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	7,779,281株	2022年3月期3Q	7,779,285株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策が進み、社会経済活動の正常化が進む一方、ロシア・ウクライナ情勢等を背景としたエネルギーや原材料価格の高騰、また世界的な金融引き締め等の影響による海外景気の下振れリスク等、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況下、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、商事セグメントの輸入炭販売単価が上昇したこと等により、売上高は381億3百万円（前年同期比59.9%増）となり、利益面につきましては輸入炭の販売数量が増加したこと等により、営業利益は14億36百万円（同194.1%増）、経常利益は14億27百万円（同355.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億87百万円（同320.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ①不動産セグメント

マンションの買取販売の増加等により、売上高は21億88百万円（前年同期比3.9%増）となり、営業利益は6億57百万円（同2.4%増）となりました。

#### ②商事セグメント

輸入炭の販売単価が上昇したこと等により、売上高は280億円（同93.5%増）となり、輸入炭の販売数量が増加したこと等により、営業利益は9億72百万円（同338.6%増）となりました。

#### ③サービスセグメント

給食事業及び旅客運送業（タクシー業）等の売上増加により、売上高は39億79百万円（同1.6%増）となり、営業利益は2億69百万円（同21.8%増）となりました。

#### ④建設工事セグメント

建設工事の受注が増加したことにより、売上高21億92百万円（同26.7%増）となり、営業利益は54百万円（同186.6%増）となりました。

#### ⑤肥料セグメント

農業用肥料等の販売数量が増加したこと等により、売上高は17億42百万円（同8.7%増）となり、営業利益は1億12百万円（同416.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は545億67百万円となり、前連結会計年度末に比べて99億20百万円増加となりました。この主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が66億35百万円、商品及び製品が24億63百万円、現金及び預金が7億76百万円増加したこと等によるものであります。

負債は383億42百万円となり、前連結会計年度末に比べて88億37百万円増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が78億89百万円、短期借入金が増加した6億16百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は162億24百万円となり、前連結会計年度末に比べて10億83百万円増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が8億30百万円、その他有価証券評価差額金が2億44百万円増加したこと等によるもので、この結果、自己資本比率は28.9%（前連結会計年度は32.9%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で2022年11月11日に公表しました「2023年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,723	6,500
受取手形、売掛金及び契約資産	4,268	10,904
未成工事支出金	12	83
商品及び製品	5,171	7,635
原材料及び貯蔵品	154	194
その他	1,134	1,122
貸倒引当金	△9	△8
流動資産合計	16,457	26,432
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,325	9,078
土地	13,967	13,976
その他（純額）	1,019	971
有形固定資産合計	24,312	24,026
無形固定資産		
その他	78	92
無形固定資産合計	78	92
投資その他の資産		
投資有価証券	917	1,264
長期貸付金	2	2
差入保証金	2,068	2,068
その他	817	687
貸倒引当金	△8	△7
投資その他の資産合計	3,798	4,015
固定資産合計	28,189	28,134
資産合計	44,646	54,567

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,268	11,158
短期借入金	9,003	9,619
未払法人税等	54	202
賞与引当金	224	114
その他	2,371	2,671
流動負債合計	14,922	23,766
固定負債		
社債	1,971	2,385
長期借入金	5,744	5,337
受入保証金	3,440	3,580
債務保証損失引当金	1,131	1,031
退職給付に係る負債	650	581
資産除去債務	110	110
その他	1,534	1,548
固定負債合計	14,583	14,576
負債合計	29,505	38,342
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,244	4,244
資本剰余金	3,380	3,379
利益剰余金	5,816	6,646
自己株式	△4	△4
株主資本合計	13,437	14,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	418	663
土地再評価差額金	832	832
退職給付に係る調整累計額	△7	△6
その他の包括利益累計額合計	1,243	1,489
非支配株主持分	460	468
純資産合計	15,140	16,224
負債純資産合計	44,646	54,567

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	23,823	38,103
売上原価	20,851	34,178
売上総利益	2,971	3,925
販売費及び一般管理費	2,483	2,489
営業利益	488	1,436
営業外収益		
受取配当金	31	131
助成金収入	29	17
その他	68	156
営業外収益合計	129	305
営業外費用		
支払利息	213	215
その他	90	98
営業外費用合計	304	313
経常利益	313	1,427
特別利益		
固定資産売却益	2	7
投資有価証券売却益	80	—
特別利益合計	82	7
特別損失		
固定資産売却損	3	0
固定資産除却損	4	7
特別損失合計	8	7
税金等調整前四半期純利益	387	1,427
法人税等	113	323
四半期純利益	273	1,103
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	258	1,087

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	273	1,103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	243
退職給付に係る調整額	△0	1
その他の包括利益合計	△6	244
四半期包括利益	267	1,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	253	1,332
非支配株主に係る四半期包括利益	13	16



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産	商事	サービス	建設工事	肥料	計		
売上高								
顧客との契約から生じる 収益	884	14,465	3,904	1,730	1,604	22,588	—	22,588
その他の収益	1,222	1	10	—	—	1,234	—	1,234
外部顧客への売上高	2,106	14,467	3,914	1,730	1,604	23,823	—	23,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	70	240	89	46	0	446	△446	—
計	2,176	14,707	4,004	1,776	1,604	24,270	△446	23,823
セグメント利益	642	221	221	18	21	1,125	△637	488

(注) 1. セグメント利益の調整額△637百万円は、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△636百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社グループの総務・経理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産	商事	サービス	建設工事	肥料	計		
売上高								
顧客との契約から生じる 収益	954	27,998	3,961	2,192	1,742	36,850	—	36,850
その他の収益	1,234	1	17	—	—	1,253	—	1,253
外部顧客への売上高	2,188	28,000	3,979	2,192	1,742	38,103	—	38,103
セグメント間の内部 売上高又は振替高	78	239	108	62	1	491	△491	—
計	2,267	28,239	4,088	2,255	1,744	38,594	△491	38,103
セグメント利益	657	972	269	54	112	2,066	△629	1,436

(注) 1. セグメント利益の調整額△629百万円は、セグメント間取引消去17百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△647百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社グループの総務・経理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。